

◇市民懇談会意見まとめ

項目	ご意見	ご意見への対応
commons スペース	・目的以外で来たときにも軽食やお茶を飲めるスペースが欲しい	・1階エントランス近くに設置を計画している「まちのコモンスペース」に軽食が取れるスペースを検討しています。
	・現庁舎の食堂の位置は分かりづらい。新庁舎のカフェの場所が分かりやすければ利用する。	・分かり易く利用しやすいように1階エントランス近くに設置を計画している「まちのコモンスペース」に軽食が取れるスペースを検討しています。
	・エスカレーターの脇に階段があった方がよい	・徒歩による来庁者が多い西側入口は、搬送能力の高いエスカレータを利用していただく計画とし、車寄せのある東側入口近くにエレベーター及び階段を設置する計画としています。
	・常設の障がい者団体のブース(販売展示等)を作ってほしい	・販売を伴う展示ブースについては、まちのコモンスペースを含めて位置、運営方法など今後検討してまいります。
	・コモンスペースは市民が借りられるのか。予約がとりにくいのではないかな。	・市民の方に利用していただくスペースと考えています。予約方法などは今後検討していきます。
	・コモンスペースを作ったところで利用しない	・主催者としての利用だけではなく、庁舎に来た方が参加者として気軽に鑑賞や観覧ができるスペースになるよう計画していきます。
	・交流できる空間はいらぬのではないかな。庁舎として利用できれば良い。	・庁舎としての最低限の機能で良いなど様々な意見をいただく中で検討を重ね、春日部市を象徴するものと捉え、活動的な市民が参加できるスペースを設けた庁舎とすることとしています。
	・コモンスペースの空間が狭い。暗い。	・庁舎としての機能を最優先とする中で、限られたスペースで検討を進めてきましたが、ご意見を参考に広さについては再度検討させていただきます。
	・食堂を作っても委託業者がなかなかいないのであれば、カフェスペースが良いと思う。	◆ご意見
	・名産品の販売をしてはどうか。	・カフェでの販売が可能か、今後検討してまいります。
	・エスカレーターは良いと思う。分かりやすい場所にしてほしい	・エスカレーターは徒歩による来庁者が多い西側入口から分かりやすく、搭乗しやすい場所に設置する計画です。図ではもっと分かりやすい標記に修正します。
・食堂はあった方がよい	・食堂につきましては必要、不要様々な意見があり、検討を重ねてまいりましたが、大きな課題として、平日の日中に限られる庁舎での営業形態では経営が困難との意見があることから、土日も営業が可能で市民の憩いの場である「まちのコモンスペース」の近く(1階エントランス)に軽食も取れるカフェの設置を検討しています。	
・軽食スペースに賛成。	◆ご意見	
・食堂を本気で考えるのなら、職員でやるのでも良い。八千代市の食堂が良い	・職員が食堂の営業をするのは難しいと思われませんが、営業希望者がいない場合は、直営で可能な方法があるのか検討してまいります。	
広場	・現庁舎の跡地にできる公園にイベントができる空間を作れば良いのではないかな。一体的に利用できるように工夫してほしい。	・まちのコモンスペースは、行政手続きを行うだけのために庁舎を訪れる方に春日部市の魅力を知っていただくスペースとして設置したいと考えています。 ・庁舎にあるスペースの利点を生かせる活用方法をお示しできるように催し等運営方法を検討してまいります。
	・マルシェなどイベントスペースは公園等、別の施設でやった方がよい	
	・広場に遊具を置いてほしい	・屋内スペース(まちのコモンスペース)と一体的にイベント開催が可能な広場としながらも、設置が可能な遊具があるか検討してまいります。
庁舎内・ 窓口	・庁舎内の手すりの設置について、病院と同等につけてほしい。	・ユニバーサルデザインの考えに基づき、必要な場所、設置可能な場所に設置するよう検討いたします。
	・今は話をしたくても立ち話になっていることが多いので、座って落ち着いて相談したい	・窓口部署のカウンターは基本的に着座で対応できるローカウンターの設置としています。
	・窓口に座って対応してもらいたい。	
	・ユニバーサルデザインがもっと伝わるものにした方がよい	・具体的なユニバーサルデザインの採用箇所について、お示しできるように検討いたします。
・待合スペースはゆとりを持ってほしい	・狭あい化が課題の現庁舎の規模が15,000㎡であり、教育委員会やコモンスペース、動線分離やゆとりのある市民エリア、待合スペースなどにより現在は21,000㎡となっています。 ・新棟2階の市民窓口エリアの待合スペースは、現本庁舎1階の待合スペースに比べてゆとりのある広さで計画しています。	
配置	・災害対策本部はもっと低層階にあった方がよい。浸水の可能性もあるから2、3階が良いのではないかな。	・地震や浸水の可能性や停電時の移動などを考えた設置場所としては、ご提案のとおりと考えます。一方では行政機能の使いやすさとして窓口部門の設置場所も重要であり、総合的に考えて4階への設置としたものです。 ・4階設置としながらも停電時の利用方法や対策について検討してまいります。
	・市民課は1階にあった方がよい	・市民窓口については、1階が望ましいとのご意見は多くいただいています。
	・市民課は他市でも1階だから1階にした方がよい	・敷地の関係上、立体駐車場を設置した庁舎では、ワンフロアに窓口部門を設置することは難しく2フロアに分割することとなります。
	・利用者が多いところは1階にし、立体駐車場にした方がよい	またピロティ構造とした大きな理由としましては土壌汚染対策があり、総合的に判断し、窓口部門をワンフロアに設置可能なピロティ形式にしたものです。
	・議場はその気がある人が行くのである程度不便は仕方ない	◆ご意見
	・キッズスペースは2階にあがってすぐの場所にあった方が目につくのでよい	・来庁者の多い部署の前や往来するスペースに設置するのは保護者の方が心配されることから、フロア奥側に設置しています。 ・分かりやすい案内ができるようにサイン計画等について検討してまいります。
	・もっとコンパクトな庁舎にできないかな。	・狭あい化が課題の現庁舎の規模が15,000㎡であり、教育委員会やコモンスペース、動線分離やゆとりのある市民エリア、待合スペースなどにより現在は21,000㎡となっています。
	・市役所はコンパクトでシンプルにしてほしい。事務的に利用できればよい。	・コンパクトで快適・機能的な庁舎となるように更に検討してまいります。
・動線が2階に集中してしまっている	・市民が訪れる窓口部門をワンフロアに集約することで利便性を高めています。 ・動線については、来庁者が最も多い市民課を手前に配置しながらも、待合スペースにゆとりを持たせて通路を確保し、交錯しないように配置しています。	
駐車場	・ピロティ駐車場は耐震が心配	・震度6強程度の地震に耐える構造であり、免震装置を設置する柱は同規模鉄筋コンクリート造の建物で通常80cm程度の柱を約2mの鉄筋コンクリート造の柱とすることで、十分な耐震性能を確保しています。
	・ピロティより立体駐車場の方がよいのではないかな。	・敷地の関係上、立体駐車場を設置した庁舎では、ワンフロアに窓口部門を設置することは難しく2フロアに分割することとなります。 またピロティ構造とした大きな理由としましては土壌汚染対策があり、総合的に判断し、窓口部門をワンフロアに設置可能なピロティ形式にしたものです。
	・駐輪場がどうなっているか分かりづらい	・駐輪場は西側入口及び東側入口付近に設置する計画です。
	・駐車場を開放し、土日でも気軽に行けるようにしてほしい	・現在、有料の駐車場にする計画はありませんが、閉庁日に開放が可能か検討してまいります。
	・駐車場でイベントをやるとなると駐車場台数は214台で足りるのか。	・イベントスペースは基本的に「まちのコモンスペース」と考えています。 ・ピロティ駐車場は、閉庁日や雨天時の臨時的な利用が可能ではないかと考えています。
	・駐車場214台はコモンスペース活性化による来庁者増に対し問題ないのか	・現庁舎における最大の来庁者は、確定申告手続き期間や選挙の期日前投票期間の11日間でした。この期間の来庁者をイベントの来庁者数と捉えて、現状より25台増設した214台で計画しています。

ピロティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティ駐車場は雨に濡れないのは良い ・ピロティでのイベントは騒音に問題がある 	<p>◆ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催可能なイベントは検討する必要があると考えています。
計画地	<ul style="list-style-type: none"> ・セブンイレブンの前の通りは浸水するので大丈夫なのか心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この周辺エリアの浸水については、道路整備や「100mm安心プラン」などの長期改善計画に従い整備しているところ。 ・新本庁舎建設に伴い周辺の浸水対策として、県で定める基準約1,500㎡の雨水一時貯留槽を設置する計画です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・建設地の地盤はどうなっているのか知りたい。 	<p>今年度地質調査を行い、支持層を確認しております。地盤は第3種地盤との結果となっております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・土盛りを高くした方が良い 	<p>周囲の道路との高さ、庁舎入口への勾配などを含めて検討し、浸水対策を行ってまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌がどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染対策法に基づく調査を行い「砒素及びその他の化合物」による汚染が確認されています。解体工事及び新築工事は法の基準に従って行ってまいります。
構造	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質の調査をやっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染対策法に基づく調査を行い「砒素及びその他の化合物」による汚染が確認されています。 ・アスベストやPCBなど法律で定められた調査は行っており、法の基準に従い撤去、処分してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化と免震でどう違うのか具体的な数値を示してほしい 	<p>耐震構造は地震の揺れの力に対し、建物自体を強固にする工法です。耐力壁をつくったり、接合部を強くします。免震構造は地震の揺れの力を建物に直接伝えないように、免震装置を設ける工法です。2つの工法は全く違うものですので、同じ尺度でははかりかねますが、どちらも耐震指標であるIs値をクリアするものです。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・免震装置のダンパーなどが話題になっている。数値をきちんと確認して採用しなければならない。 	<p>◆ご意見</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・免震装置の最大振幅は何mまで許容できるのか。 	<p>免震装置にもよりますが、おおよそ30～40cmといわれております。</p>
財源	<ul style="list-style-type: none"> ・柱頭免震は構造上基礎免震より弱くなるイメージである。きちんと地震への強度を示してほしい。安全率なども示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単純に柱頭免震と基礎免震の比較は難しいですが、今回のプランでは同規模鉄筋コンクリート造の建物で通常80cm程度の柱を免震装置が乗っていることから約2mとするなど地震への強度を確保する対策をしています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターは必要でなくなれば、売却等して資金繰りをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局は集約しますが、視聴覚センターや郷土資料館などは、変わりなく教育センターにありますので売却は難しいと思われれます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・概算予算もない計画は「絵に描いた餅」であり、1月のパブリックコメントはどのような内容で行おうとしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月のパブリックコメントでは事業費をお知らせしたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティは建設費が高いのではないのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・単にピロティが高いということではなく、これにより立体駐車場が不要になる、土壌の掘削が少なくなる、柱の間隔を広くする、太くするなど総額で検討をすることで、現プランの事業費は立体駐車場のプランに比べ約3億円程度削減できる試算となっております。
	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎で削ったお金を別の利用で使った方が有用である 	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎の課題を解決するため、移転建替えることとなりましたが、そのための事業費は極力削減していくのは当然と考えています。
外観・建物	<ul style="list-style-type: none"> ・市の負担として財源をどう考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年に創設された交付税措置のある起債「市町村役場基の適正管理推進事業債」と併せて基金を活用し、各年度の財源を確保してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・優しさを感じられる建物にしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・外観の色彩や材質については、景観アドバイザー制度を活用して優しさと自然環境に配慮した庁舎としてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境とマッチしたものにしてほしい 	
<ul style="list-style-type: none"> ・庄和総合支所の雰囲気のような建物にしてほしい 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちのコモンスペース」という表現は難しい。「共用部」としてはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちのコモンスペース」については、基本計画でお示した考え方であり造語です。 ・資料等の説明をわかりやすく作成していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・建設を急ぐ必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎は耐震基準を満たしていない建物であり、早急に建設をする必要があります。 ・財源の計画を行い、物価状況を見定めながら適切な事業計画としたものです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎よりも他にお金をかけるべき 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントをやって意見を取り入れてもらえるのか。時期的に意味がないのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントは施設建設の基本設計時に行うことが市民参加推進条例で定められた手続きです。 ・基本設計で反映できるものについては基本設計中に、実施設計で反映できるものについては、実施設計で反映してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・（中央第一公園と）周りとの連携を図った方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・両施設の設置目的は異なりますが、市役所通りに面した中心市街地のまちづくりとして、一体的な景観形成など密接に関わるものであり、相互に連携して進めていきたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・既存棟は壊した方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計を進める中で、既存棟の位置が配置計画等に影響があることはありますが、コスト的には新規建替えに比べ大幅に低く抑えることが可能であり、マネジメント的にも使えるものは使っていく考えです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水を一箇所に集める方式で放射線汚染が起こる可能性がある（集めると濃縮される）過去の建物で計測すべきである 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市立病院敷地内の6か所の集水桝でガイガーカウンターによる放射線量測定を行いました。その結果、0.050～0.099 μ Sv/hであり、除染の目安となる0.23 μ Sv/hを大きく下回っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・IT導入したら全員が使いこなせるよう教育をすべき。投資をしても無駄になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入した機能・設備を職員が有効に活用できるよう、研修など人材育成に努めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・東口の活性化についてどう考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東口の活性化については、連続立体交差事業など様々な事業を推進することで中心市街地を一体的に捉えたまちづくりを進めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・カタカナ語が多すぎる。日本語で示して分かりやすくしてもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・修正可能なものについて検討いたします。